

公表:令和 2年 1月 14日

事業所名:まごころ 平和通店

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○			パーテーション等を仕切る等の工夫をしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○				適切に配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○			玄関出入口の階段がある為、工夫をしている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○				業務の改善を毎朝のミーティングや職員会議等で広く職員の意思を反映させられるような環境をつくっている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				保護者等に向けて事故評価に係るアンケート調査を実施している。結果をもとに業務内容に反映させていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				ホームページにて公開を行っている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		外部評価は行っていないが業務改善の為、今後実施していきたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○				職員は積極的に外部研修を受講する機会を設けている。職員会議内においても研修の機会を設けている。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				アセスメントに基づいた計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				研修等で学んだアセスメントツールを活用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				起案書を作成にあたり、複数の職員で検討している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				プログラムの評価を行い改善している。積極的に新しいプログラムの考案を行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○				学校の休日や長期休暇には屋敷の調理レクその他、平日には行けない場所への外出を取り入れている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				児童の課題に合わせて個別・集団活動を組み合わせた計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				毎朝ミーティングを行い、一日の流れや注意事項について確認している。

	⑩⑥	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○			利用後の送迎業務があり、支援終了時の振り返りは困難な為、月に1~2度職員会議にて振り返りを行い改善に繋げている。
	⑩⑦	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				記録は関わった職員が記入しているが、全職員が目を通し把握するよう取り組んでいる。
	⑩⑧	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				定期的に現場職員の意見を聞きモニタリング会議を実施している。
	⑩⑨	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○				ガイドラインに沿って支援を行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑩⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				児発管だけでなく、必要であれば対象児童の状況に詳しい職員が参加している。
	⑩㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○				送迎時に学校の先生と情報共有をしている他、必要に応じて電話等で学校との連絡を行っている。
	⑩㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			アレルギー、てんかんのある児童が在籍している為、事前に病院や主治医を確認している。
	⑩㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○			対象児童がいないが、必要な場合は情報共有を行っている。
	⑩㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○			対象児童がいないが、必要な場合は情報共有を行っている。
	⑩㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				児童発達支援センター開催の研修を受講し、職員のスキルアップを図っている。
	⑩㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○		機会はないが、必要であれば実施していく。
	⑩㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○		参加する機会はなかったが、積極的に参加していきたい。
	⑩㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				送迎時の他、定期的に面談を実施し、情報共有を行っている。
	⑩㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○			ペアレント・トレーニングという形態はとっていないが、事業所内で実施して効果が見られたものは保護者様へ周知している。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				契約時に不明なところがないよう、丁寧に説明を行っている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				送迎時や必要に応じて時間を設けて相談を行っている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○				保護者様参加の親睦会を実施している。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				保護者様からの苦情に対して速やかな状況説明と改善方法を伝えている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				毎月、事業所での活動や連絡事項を掲載したお便りを発行し、保護者様等に配布している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○				保護者様同意のもと、事業所または必要に応じて関係機関のみでの利用としている。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				送迎時の他、連絡ノートを用意し情報伝達の方法の一つとしている。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○			行事の際は、近隣の商店等に協力を頂いている。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				緊急対応マニュアルは玄関に提示し、外部の方も自由に閲覧できるようにしている。保護者様に対しては周知が不十分であった為、今後改善していく。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				消防法に則り、年に2回の防災訓練を実施している。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				職員に対しては日々のミーティングの中で虐待防止への意識付けを行っている。次年度実施される虐待に関する研修の参加を予定している。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				身体拘束を行う必要のある対象児童はいないが、やむを得ず行う場合は適正な手続きを踏み進めていく。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				利用開始前に保護者様からの聞き取りをもとに対応している。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				ヒヤリハット報告書を回覧し、職員会議内で改善に向け話し合いを行っている。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。